

日々の環境構成に見る先生方の感性のすばらしさ

学校に子どもたちが戻ってきたと同時に夏の日差しも戻ってきた一週間となりました。

昨日は研究全体会Ⅲが行われましたが、公開についての結論は持ち越し。4年時次の研究の方向性については時間がなく、結果研究部からの提案の確認に終わってしまった感があります。

4年目の研究とはいえ、子どもも私たちスタッフも毎年変わっているので、継続性を大事にしながらも新たな気持ちで子どもたちと向き合い、研究に取り組みたいと思っています。研究は子どもたちのためにあります。その延長に公開があるので、力のある附属小の先生方だからこそ研究の目的をもう少し確認していただけたらと願っています。次回、話し合うことになりますが、論点整理が必要だと感じました。

さて、写真1は5年生の廊下の黒板です。このような環境を日常的に作れることが先生方のすばらしさだと感心させられました。また、昨日エリザ先生から『Classroom English』のテキストを頂きました。このようなすばらしいALTの先生に巡り会えるのも附属小ならではの環境だと思います。

また、写真2は北ホールの委員会活動の掲示板です。計画委員会でたてわりロングに向けて話し合いを始めたことや緑化委員会で噴水の周りの花壇の除草作業に取り組んでくれたこと、さらには体育委員会がなかよし運動会に向けて「附小体操」の練習を行っていることなどが紹介されていました。掲示物の一つ一つが子どもたちに向いていること嬉しく思いました。



【写真1 5年生廊下の黒板】



【写真2 5年生廊下の黒板】

放課後の校庭で6年生の市小体へ向けた練習が、全職員でのサポート体制の中でスタートしました。淳先生が子どもたちを鼓舞し、佐竹先生がハードルで手本を示し、先生方がみんな6年生を応援しようとする雰囲気になかよきとありがたさを感じました。

月曜日から後期教育実習です。前期同様、附属の先生方や子どもたちと過ごす2週間は学生の皆さんにとって教職への夢と希望の土台となるはずです。先生方も体調を万全に来週からご指導願います。

(文責：副校長 手代木)